

交通安全教室

5月30日(金)

歩行者としての基本的なルールを習得するとともに、交通安全及び事故防止に対する心を育み、命の大切さを学ぶため、檀原警察署生活安全課・交通課の署員さんと檀原市役所の交通指導員の方に来ていただいて、交通安全教室を行いました。交通ルールを守る大切さや自分の命を守る大切さのお話は、子どもたちもしっかり聞いていました。



知らない人にお菓子やおもちゃを買ってあげると誘われても絶対について行ってはいけないことや、「助けて～」と大声で助けを呼ぶことなど教えてもらい、実際に子どもに声をかけて実演してもらいました。知らない人には絶対についていけないことをみんなで約束しました。



おまわりさんや交通指導員さんたちの楽しいお話クイズ形式で、道路を横断するときや信号のお話、踏切を渡る時の注意など、楽しく学ぶことができました。



歩行コースを使つての歩行練習。

信号機のない所と信号機のある所での正しい横断の仕方や踏切の渡り方を指導員さんや警察の方に声をかけてもらい、一緒に確認しながら一人一人教えて頂きました。



踏切では右・左・右を見て・耳で警報機音を聞き、安全確認して渡ろうね！

お土産もいただきました。



ご家庭でもこれを機会にお子さんと一緒に交通安全について話し合ってみましょう。